



歯 車

笑顔いっぱいのまちをめざして

平成23年2月27日

鈴木としお後援会 No 2

〒018-0436

事務所：にかほ市樋目野字樋口21

TEL fax : 37-2307

Eメール toshio@ninus.ocn.ne.jp

《討議資料》

三月定例会の日程決まる！

3月3日：本会議 会派代表質問

4日：本会議 一般質問 小川正文 議員

- ①市民参加、参画によるまちづくりについて
- ②臨時職員等の体制について
- ③高速道路の排水について

竹内賢 議員

- ①予算編成にあたっての基本姿勢と事業決定について
- ②にかほ市の北前船ゆかりの港近くで
北前船を見る機会の実現に取り組みを

宮崎信一 議員

- ①除排雪計画について
- ②鳥海山の伏流水の販売について
- ③ご当地ナンバープレートについて
- ④ごみ有料化について

池田好隆 議員

- ①エネルギー特区への取り組みについて
- ②企業誘致と地元企業育成で雇用の拡大を
- ③放課後児童健全育成事業について

村上次郎 議員

- ①児童のフッ素洗口は慎重に
- ②自然エネルギーの積極的な活用を
- ③医療費無料化を中学生まで拡充を

3月7日：本会議 一般質問

鈴木敏男 議員

- ①災害対策について
- ②ごみ処理施設の建設について
- ③農業の振興方策について

佐々木弘志 議員

- ①にかほ市総合発展計画（基本計画・実施計画）
について
- ②小出小学校・院内小学校統合等について
- ③介護施設等について

奥山収三 議員

- ①にかほ市の街路灯の照度について
- ②介護認定について

伊東温子 議員

- ①学校給食における食育と栄養教諭制度について



3月8日：本会議 上程されている議案に対して、通告による質疑があります。

3月9日～17日 各委員会に分かれての委員会が行われます。

3月18日：本会議 委員長報告、委員長報告に対する質疑、討論、採決が行われます。

市長の市政報告から

定例会冒頭に、市長から市政報告があった。折りしも発生した、ニュージーランドで起こった地震についての報告とお見舞いのことばがあってから恒例の報告。以下はその要旨である。全文、読みたい方は当方に連絡下さい。

23年度の予算編成について

景気の動向は依然として厳しい状況にあり、23年度は22年度に引き続き、市民生活を支えるための施策をはかり、市民の視点に立って「選択と集中」を行い、安心して暮らすことのできる、活力ある「にかほ市」を目指して編成した。

安心して暮らせる福祉のまちづくりについて

各年代にあった健康診査や予防接種・健康教育などを進めたい。虫歯予防には保護者の理解と協力を得ながら、保育施設の年長児と小中学校児童を対象にフッ素洗口事業を予定している。

また、特定不妊治療費の一部を助成したい。

障害児学校休業時支援推進助成は、日中一時支援事業を継続し、人員確保のために単独の助成を行う。

高齢者の支援については、訪問対象を70歳以上の一人暮らしまで広げ、見守り体制を強化してゆく。

上浜地区に学童保育クラブを設置し、社会福祉協議会には専門の手話通訳者を配置する。

人と文化を育むまちづくりについて

「院内・小出小学校統合検討委員会」立ち上げる。

象潟小学校の北校舎の耐震補強工事を行う。

金浦中学校に武道場を整備する。

小中学校に理科・算数・数学の学習の充実を図るため、専門の職員を3名雇用する。

白瀬南極探検隊百周年を記念し、企画展・演奏会、また、記念式典や講演会を実施する。

8月には夏期巡回ラジオ体操を開催する。

自然豊かで住みよいまちづくりについて

まちづくり交付金事業については、引き続き旧金浦小跡地や護岸などの整備を進める。

住宅リフォーム支援は県と連携して実施、十万円を上限に工事費の5%を助成する。

簡易水道は28年度までに順次、上水道に統合する。

農業集落排水事業は、百目木地区の処理場の機能強化事業を実施する。

防災行政無線は今後、情報伝達として迅速かつ的確に伝達していく。

前川象潟間の道路整備は工事着手に向けて進める。また、長さ15m未満の橋橋梁超寿命化修繕計画を策定し改修をする。

日沿道の県境部分の整備について、整備区間に格上げをされるよう政府等に要望活動を展開する。

活力ある産業のまちづくり

転作田でモミガラを活用した補助暗渠事業の実施し、生産力を高める施策に取り組む。

高品質・良食味生産強化の支援をし、「中山間地域等直接支払交付金事業」を継続する。

漁獲共済加入の促進とつくり育てる漁業も継続する。

ナラ枯れ対策は市が事業主体となり推進する。

「共同受注システム構築委託事業」等引き続き行う。

その他

市長はじめ常勤特別職の給料を4月から1年間10%削減する。

ごみ処理施設については、スケジュールにより当市単独事業とし、秋ごろまでに適地選定する。

豪雪で生じた農業用施設等には県と歩調を併せて復旧策を講じる。

ごみ処理施設整備・解体スケジュール（案）

適地選定	23/6～9
地形等測量	23/10～24/3
環境アセス等	24/4～25/5
計画	23/5～24/3
造成工事	25/10～26/6
建設（解体も）	25/10～28/3
供用開始	28/4

三月は卒業のシーズン。卒業される生徒の皆様、そして、保護者の皆様にも、心からお祝いを申し上げますとともに、目標に向かってまた頑張ってください。

目線

ごみ処理施設整備の建設

平成十八年度から、由利本荘市と共同での建設の協議を進めていた、本処理場であるが先の議会ですべて建設を行うこととなったことが、市長から報告された。既存の建物に十二年の差があり、このままでは二十八年の供用開始に間に合わないことから、単独に至ったようである。現在の、建物の維持には年間約一億円もかかっており、今般建設に至るまでのスケジュールが左記のように示された。今後、ごみの減量化も含めて、将来を見据えて検討していくことになるだろう。

